

令和3年度の市の予算が決まりました。アフターコロナを見据えた、「新しい豊かさ」へのスタートアップ予算として位置付けた本年度予算についてお知らせします。

施政方針(要旨)

オール甲賀で未来につなぐ！
「新しい豊かさ」へのスタートアップ予算

甲賀市長 岩永裕貴

令和3年度の一般会計予算は、「選ばれたまちづくり」への7つのチャレンジと、計画初年度となる第2次甲賀市総合計画の第2期基本計画を踏まえ、『オール甲賀で未来につなぐ「新しい豊かさ」へのスタートアップ予算』としました。

まずは、市民の健康と暮らしを守るため最優先で新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組み、同時に、アフターコロナを見据えた「新しい豊かさ」を目指すまちづくりを推進する予算としています。

また、中長期的な展望を持ちながら引き続き、「子育て・教育」、「地域経済」、「福祉・介護」を柱とした事業等を重点的に推進し、市民の皆様が暮らしの中に幸せを実感できるまちづくりにつなげてまいります。

これからも市民皆様とともにさらなる市政の発展に向け、各種施策の推進に邁進いたしますので、「一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。」

一般会計

一般会計予算総額は、396億6千万円で、令和2年度当初予算から2億3千万円増加しました。市民の健康と暮らしを守るために、新型コロナウイルス感染症対策や市民の利便性向上のために、行政のデジタル化推進に関する経費を計上したことに由来するものです。



特別会計・企業会計

特定の事業を行うための4つの「特別会計」と上下水道や病院などの収益事業を行う5つの「企業会計」に分類し、経理しています。

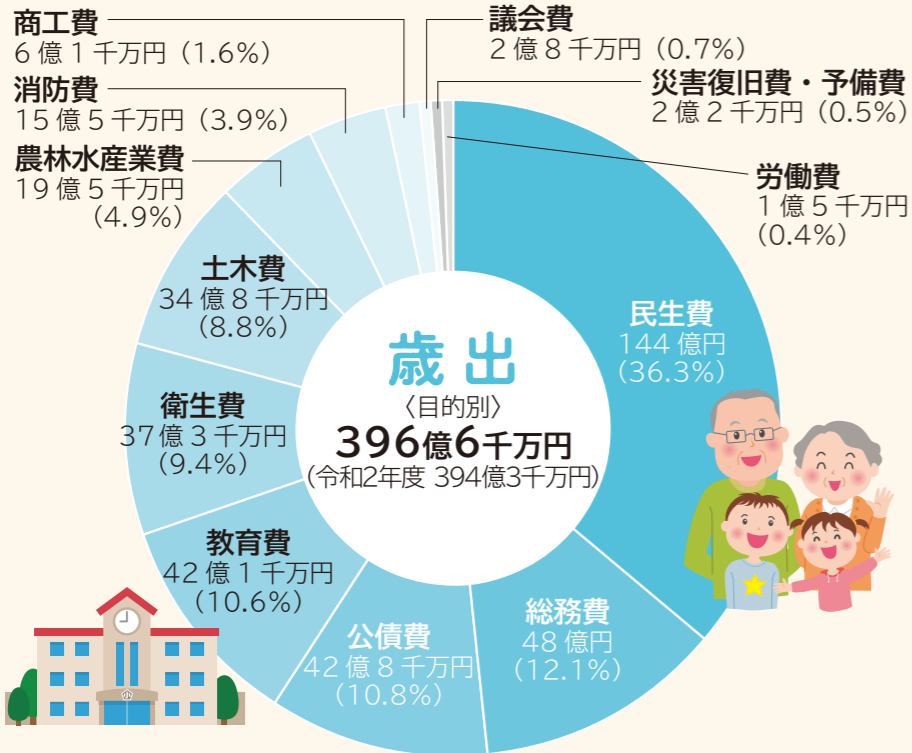
		予算額			
		3年度	2年度	前年度比較	
特別会計	国民健康保険	84億9,600万円	85億7,900万円	▲8,300万円	
	後期高齢者医療	20億6,800万円	20億5,500万円	+1,300万円	
	介護保険	81億7,900万円	79億4,800万円	+2億3,100万円	
	野洲川基幹水利施設管理事業	4,735万円	4,485万円	+250万円	
	小計	187億9,035万円	186億2,685万円	+1億6,350万円	
企業会計	病院事業	収益的支出	8億2,808万円	8億4,069万円	▲1,261万円
		資本的支出	1億8,769万円	6,925万円	+1億1,844万円
	水道事業	収益的支出	27億2,800万円	28億5,996万円	▲1億3,196万円
		資本的支出	15億3,892万円	17億896万円	▲1億7,004万円
	診療所事業	収益的支出	2億3,430万円	2億2,940万円	+490万円
		資本的支出	2,299万円	1,195万円	+1,104万円
	介護老人保健施設事業	収益的支出	3億2,900万円	3億2,470万円	+430万円
		資本的支出	2,018万円	1,302万円	+716万円
	下水道事業	収益的支出	35億8,759万円	36億6,229万円	▲7,470万円
		資本的支出	30億533万円	28億7,280万円	+1億3,253万円
	小計		124億8,208万円	125億9,302万円	▲1億1,094万円
	合計		312億7,243万円	312億1,987万円	+5,256万円

歳出

▶福祉、教育のための施策に重点

子どもや高齢者、障がい者などの福祉のための費用である民生費の割合が最も多く歳出全体の36.3%を占めています。

また、教育費は、施設整備事業(合併特例債事業)の影響により減少(昨年度から7千万円の減)していますが、合併特例債事業を除いた場合、1億2千万円増加しました。



※内訳について単位未満を四捨五入しているため合計が合わないことがあります。

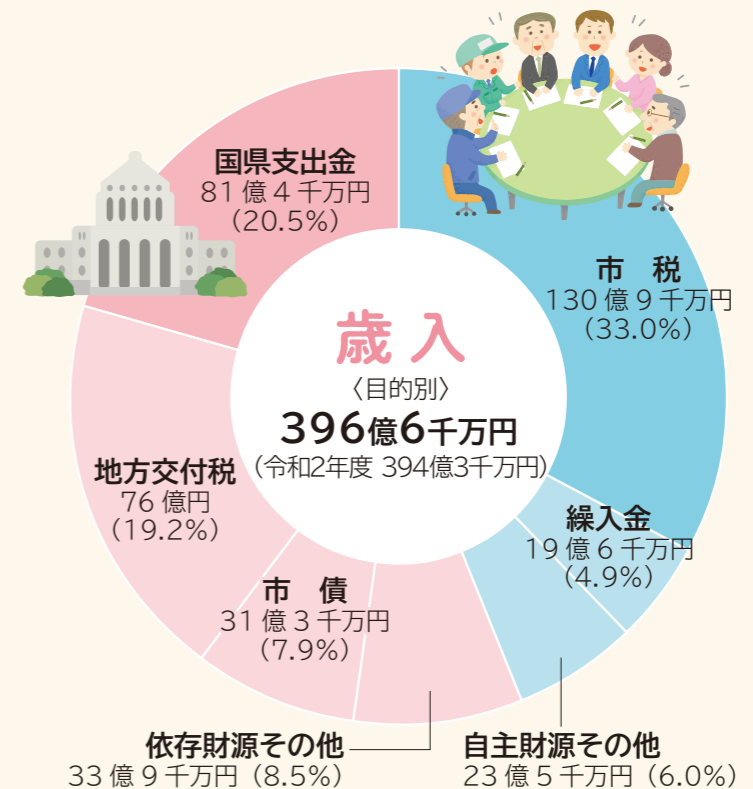
歳入

▶感染症拡大の影響を見込み市税が減少

歳入予算のうち、市税は130億9千万円(昨年度から8億9千万円の減)で歳入全体の33.0%を占めています。

また、依存財源は国県支出金や地方交付税などが増加しました。

- 自主財源
市が自主的に収入することができるもの
- 依存財源
国や県の意思決定に基づき収入されるもの
市債も依存財源に該当



※内訳について単位未満を四捨五入しているため合計が合わないことがあります。